

# 学校評価実施結果

## 1 学校目標

「学び合い、ともに高め合う子」の育成

〔重点施策〕

- ①思いや考えを伝え合い共有する、学び合う力を高める授業の充実
  - ・考えをつなげて話し合い、学び合う力を育てる。
  - ・自分の思いや考えを表現する力を育てる。
- ②主体的に「人・もの・出来事」にかかわることを通して、他者と協調・協働する心を育てる体験活動の充実
  - ・話し合い活動による子ども主体の体験活動の推進を図る
  - ・他者との連携・協働によるコミュニケーション能力の向上を図る。
- ③言語能力を高め、豊かな心を耕す読書活動の充実
  - ・読書に親しみ、図書（新聞）を活用する力を育てる。
  - ・多様な読書活動による言語能力・表現力の向上を図る。

## 2 今年度の学校目標と重点施策の達成状況

（評価：A 十分達成した B 達成した C 達成できなかった D まったく達成できなかった）

	重点施策①	重点施策②	重点施策③	学校目標 達成度評価
評価	B	B	A	B

## 3 学校目標に係る成果

- 算数科を核とした授業研究で、導入時での既習事項の提示、問題解決に関わる教材・教具、発表方法等の工夫や改善に取り組んだ。問題解決の見通しをもち、相手の考えを理解することで、児童は間接指導時の話し合いを効果的に進めることができた。
- 地域ボランティアの方々や他校の友達と交流する機会は、コロナ禍のため中止や縮小を余儀なくされたが、場所や時間、参加人数等を工夫し、「みんな（人・もの・こと）とつながる」を意識させて、できるだけ実施するようにした。里海・里山学習による体験活動では、事前に活動のめあてや意義を意識させることにより、意欲的に活動に取り組み、学年の実態に応じた振り返りを行うことができた。
- 読み聞かせやブックトーク等、様々な読書活動の工夫、学校図書館の環境整備を強化することにより、児童の読書への関心を高め、読書の幅を広げることができた。また、読書を生かした、俳句や新聞づくりに取り組むことにより、言語能力・表現力を高めることができた。

## 4 学校目標に係る課題及び今後の改善方策

- 意見の交流はできるようになったものの、自他の考えを比較し、類似点や相違点を踏まえて意見を交換できる力の育成が課題である。各教科及び教育活動全般で、主体的に考えをつなげて話し合うことができるような手立てを工夫した授業改善に取り組んでいく必要がある。
- 積極的に他者と関わろうとする姿が見られるようになってはいるが、児童のコミュニケーション能力を高めることが課題である。日常の指導を積み重ね自信をもたせるとともに、更に地域の方との積極的な交流を促す必要がある。
- 読書に関する項目への保護者の評価は次第に高まっているが、他の項目とあまり差異がない。児童の読書活動の実態や変容について、更に理解を得ることが課題である。図書を活用した創作活動に継続的に取り組み、児童の言語能力を向上させるとともに、保護者への情報発信を充実させる必要がある。